

トライアスロンへの挑戦記

(鉄人レース60歳からの挑戦)

読者の皆さん、トライアスロンって御存知ですか？

音楽器のトライアングルを想像して下さい、三角形をしていますね？ トライアスロンはこれから名称が付けられたそうです。

すなわち、三種類の違った競技を一人の人が行う。

水泳(スイム) 1.5km・自転車(バイク) 40km・ランニング(ラン) 10km・計51.5km

小生が初めてトライアスロンに挑戦したのは1998年(平成10年)で、14年も前になります。当時、大阪にオリンピック招致を目指して(2008年実施)オリンピックのメイン会場として整備していた。舞洲を舞台に大阪舞洲スポーツアイランドトライアスロン大会が開催されることを新聞で知り、何も分らないまま申し込みました。

「その歳でトライアスロンに挑戦するか？」と周りの人々、多数に言われましたが60歳の遠慮を記念として何かに挑戦したい思いが胸中にありました。

自転車は阪神淡路大震災を期に神戸方面へマウンテンバイクをよく乗り走り回っていたので、これを利用、水泳はウエットスーツ必着との事で近くのスポーツ用品店に注文して急遽作成、そして練習を開始した。

ランニングは昔から近辺の競技大会に出場していたのでこれはなんの抵抗も無かった。約3ヶ月程の練習の後当日を迎えた。

なにもかも初めての事で詳しいことは何も知

らずに出場、(怖いもの知らずですね)何とか制限時間内でゴールできた。

この嬉しさは出場した者にしか分らないとよく言われますがその通りで自己満足に浸っておりました。この経験から次年度より毎年の様に出場する事になり、60歳台で連よく銀メダル・銅メダル、及び最高令賞をも頂き、その後しばらく休んでいましたが、70歳になって、2008年(平成20年)北京オリンピックにトライアスロン競技が正式種目に認定されてテレビで観戦して又むくむくと例のチャレンジ意欲が出てきました。

2011年(平成23年)出場申し込みをインターネットで知り待ってましたとばかりに早々に申し込みました。





からの日々は、写真アルバムを皆さんに見て頂き、より実感が湧いてきた。しかし、年齢に関係なく何事にも挑戦する限り希望が叶うものだと改めて実感した。ここ当分はアルバムと金メダルを持ち歩き、より多くの人々に見て頂こうと思っています。

そして、又次の何かに目標を定め挑戦したいと思っています。

私は人生には目的を持つことが大切、まさに生涯挑戦、向上の人生でありたいと願っています。

(大阪南支部 岩井止治)

約3ヶ月まえから、この日をめざしてスポーツクラブで三種類の競技の練習を開始した。また、道路走行に慣れる為バイクは日曜日ごと一般道路での練習を繰り返し、テクニクに慣れる。

今回はかなりの練習もこなし、当日を迎える。体調も最高に良好、5年ぶりの出場ではあったがおちついて競技に集中出来た。ゴールして分かったが出場メンバー運にも恵まれ表彰式(写真参考)では年代別で第1位となり念願の金メダルを頂くことが出来た。

74歳にして金メダルが貰えるなんて……それ

